



又ウ 日本最大規模を誇る都心緑地空間「見沼田んぼ」の主の子孫。さいたま市の魅力を伝え、人々とのつながりを深める役。

さいたま市に住んでいるゲンキ君家



ゲンキ



パパ



ママ



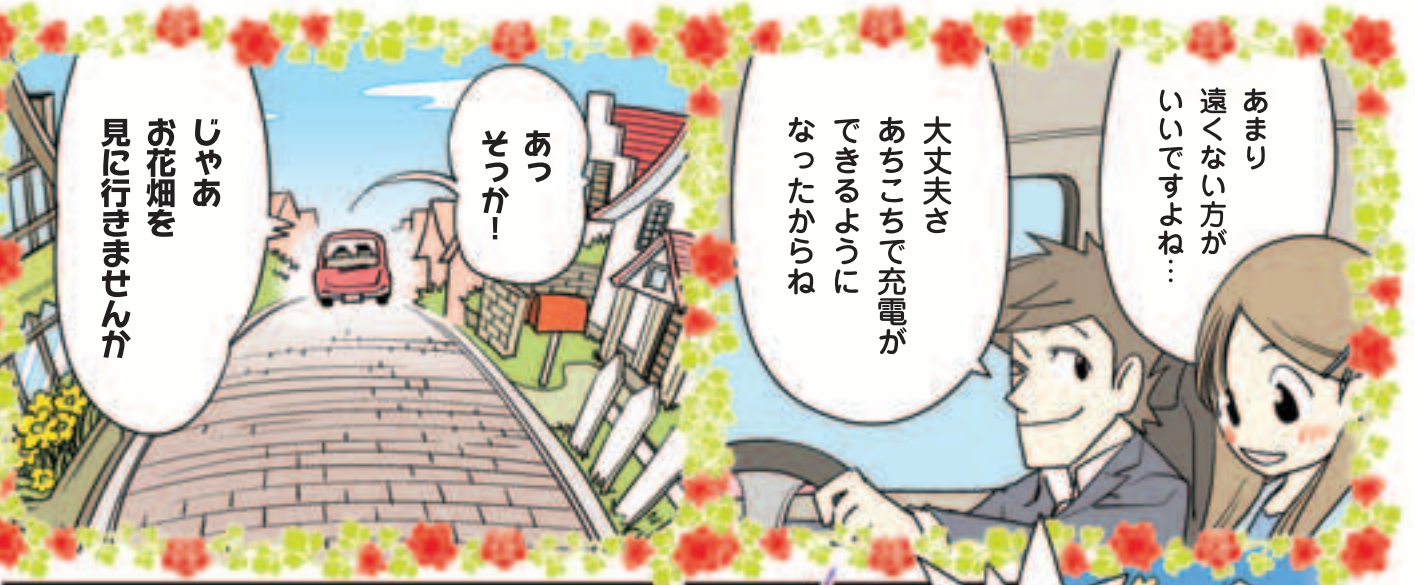
お姉ちゃん



となりのタマオ君



タマオ君のママ



あまり遠くない方がいいですよね…

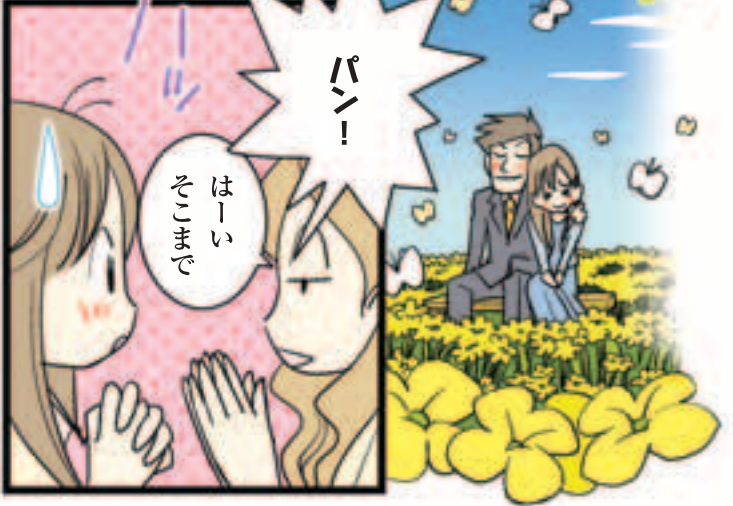
大丈夫さあちこちで充電ができるようになったからね

あっそっか!

じゃあお花畑を見に行きませんか



さいたま市ではメーカーや他の自治体に働きかけて電気自動車が走りやすい環境づくりに取り組んでいます



パン!

はいそこまで

ニニニ解説

市で10台導入は、全国で最多!
電気自動車を広める

「E-KIZUNA Project」



各区に1台ずつ配備された「EV青色防犯パトロール車」の出発式。区の色10色がそろった(1月26日)。

低炭素社会を実現するプロジェクトがスタート!

電気自動車(以下、EV: electric vehicle)は、エンジンではなく電気モーターで走ります。ガソリンを使わないので、地球温暖化防止と持続可能な低炭素社会の構築に向けて期待されています。市では「E-KIZUNA Project」に取り組み、その普及に力を入れています。

市の働きかけで、市民、企業、行政が連携

EVの課題は、1回の充電で走れる距離が短いこと。同プロジェクトではまず、自動車メーカーと協定を締結し、誰でも使える充電設備を市内に整備したり、充電スタンドの位置情報を提供したりする「充電セーフティネット」の構築をすすめています。今後、企業や他の自治体にも働きかけ、EVで安心して出かけられる範囲を広げていきます。

各区に1台、青色防犯パトロール車に導入

平成22年1月、子どもの登下校時などに活躍する青色防犯パトロール車にEVを、すべての区役所に1台ずつ導入しました。導入数10台は全国の市町村で最多です。東日本の玄関口である本市には自治体や企業の注目度も高く、今後積極的に導入補助や公用車のEV化をはじめ、全国の自治体や企業と連携して普及に取り組んでいきます。

今回の市報さいたまんが「つなが竜ヌウ」は、「大宮盆栽美術館」がテーマです。



さいたま市は
電気自動車を率先して導入し
地球温暖化防止と
持続可能な低炭素社会の
構築をめざしていきます



電気自動車は非常に環境にやさしいクルマですが、クルマを使う回数を減らすことも、地球温暖化防止のためには大切なことです。近所での買い物や通勤方法を見直すなど、電車・バス・自転車も上手に使って、かしこいクルマの使い方にご協力をお願いいたします。詳しくは、交通環境対策課(829-1329)へ、どうぞ。